

創造・参加・実践

JR西労組ひろしま

西日本旅客鉄道労働組合
 広島地方本部
 発行責任者 荒川 正仁
 編集責任者 今橋 智幸
 広島市東区二葉の里3-1-27
 J R (081)3771
 NTT (261)6614

No.271

2012年1月23日

安全な鉄道を築き上げよう!

二〇一二新春安全の集いを開催

広島地本は、一月十四日(土)地本会議室において、二〇一二新春安全の集いを開催した。中央本部松岡副委員長、白壁男女平等参画推進部長、及び交通共済佐藤推進次長を招いての本集会では、福知山線列車事故ご被害者対応本部の方の講話を聴講するなど、安全な鉄道の構築に向けての決意を新たにしました。

兼森書記長の司会で集会が始まり、荒川委員長あいさつの後、来賓の本部松岡副委員長



より、「①昨年は、和歌山地本管内の水害など、災害の多い一年であったが、組合員の鉄道員魂で乗り越えることができた。②安全基本計画も来年度で最後となる。これまでの取り組みを検証し、「ポスト安全基本計画」を作り上げていきたい。③十二月決算では、二大プロジェクトの効果もあり、好調に推移している。一二春闘では、公正な成果配分を求め



ていく。④JR西労組発足二十年目を迎え、責任組合として今後も組合員の負託に応えて

第五回執行委員会を開催

広島地本は、一月十四日(土)地本会議室において、第五回執行委員会を開催した。

会議は松原副委員長の司会で始まり、冒頭荒川委員長が、「①今年度は安全基本計画の最終年にあたる。各職場において、安全衛生委員会の充実を図り、安全意識の更なる向上に努められたい。②二

〇一二春闘について、九州新幹線直通運転とOSC開業により、会社の収入状況も改善してきている。各支部の協力を頂きながら、しっかりと闘える体制を作り上げていく。③次代を担う人材育成に向けて、教育に力を入れていく。各支部、分会において、次代継承を念頭にいた役員配置

をお願いする」とあいさつし議事に入った。まず企画関係で、兼森書記長が、経営協議会の報告や第二十一回地本委員会の開催などについて提起し、議論を行った。

その後、業務課題、組織課題、情宣活動など、各部からの報告や提起を受け、活発な意見交換を行い、当面する諸課題について意思統一をはかり、会議を終えた。



向 昌昭氏



山手 浩昭氏

いく」とのあいさつを受け、本題に入った。「安全・安心」の鉄道再生に向けてと題して、ご被害者対応本部の向、山手両氏より、現在の業務や担当されているご遺族様についての講話を頂いた。講話の要旨は次の通り。

①ご遺族様、ご被害者様の苦しみは今だ癒えておらず、決して事故を風化させてはならないし、そのための取組みも求められる。②社員の不祥事や様々な事故の報告に伺う時が担当者にとって一番辛い時である。不祥事や事故を起こすと、職場だ

けに留まらず、広い範囲に迷惑をかけてしまうことを認識して頂きたい。



出席者は、講話に真摯に聞き入り、安全への誓いを新たにしました。会となった。

第15回京都駅ビル大階段駆け上がり大会

広島地本代表 (広島じゃけんず) 決まる!!

日時 2012年2月18日(土) 10:00 ~
 場所 JR京都駅4階室町小路一带

- 第一走者 藤田 誠 (支社支部)
- 第二走者 中嶋 祥恵 (山一支部)
- 第三走者 田頭 幸雄 (広一支部)
- 第四走者 中塚 研吾 (山一支部)

選手の皆さん
 頑張ってください!!

